

# SSH指定女子高校研究交流会

8月12日（火）、お茶の水女子大学において、「SSH指定女子高校研究交流会」が開催されました。

この交流会は、北関東のSSHに指定されている女子高校6校（浦和第一女子、川越女子、熊谷女子、水戸第二、宇都宮女子、本校）が、それぞれの課題研究内容の参考にするべく、お茶の水女子大学理学部のご協力を得て開催されたもので、今回が第1回目となりました。

午前中は、基調講演と分野ごとに分かれての大学の先生や大学院生との懇談会。午後は、大学でのさまざまな研究テーマに基づく実験指導でした。

午前中の基調講演では、大学院人間文化創世科学研究科長の最上善広先生より、「問題意識をもつことについて」という演題で講演をいただきました。「問題」何なのかということからお話が始まり、問題を見つけるためには知識の引き出しを多く持つ必要があるということ。そして後半部分は、先生自らがどのように研究課題を見つけたのかということについて、先生のご専門である微生物の重力走性のしくみに関わるお話をいただきました。

懇談会では、各分野ごとに分かれた後、さらに小グループに分かれ、大学の先生や大学院生が高校生の研究に関する悩みや疑問を親身になって聞いてくださいました。そして、自らの経験に基づいたアドバイスもしていただくなど、終始和んだ形での懇談会となりました。

午後の実験指導では、大学の研究室での研究に関して14の κατηγοリーに分かれ、簡単な実験や演習で、研究内容を実感する活動を行いました。生徒達にとってはかなり刺激的な内容であり、自らの研究を進めるうえでの大きな参考になったようです。



基調講演



大学院生との懇談の様子



実験指導（キイロシヨウジョウバエの同定）の様子